

「自分で家具作りたいたい」

リアスの森応援隊 自伐林業家の養成研修会

沼仙気

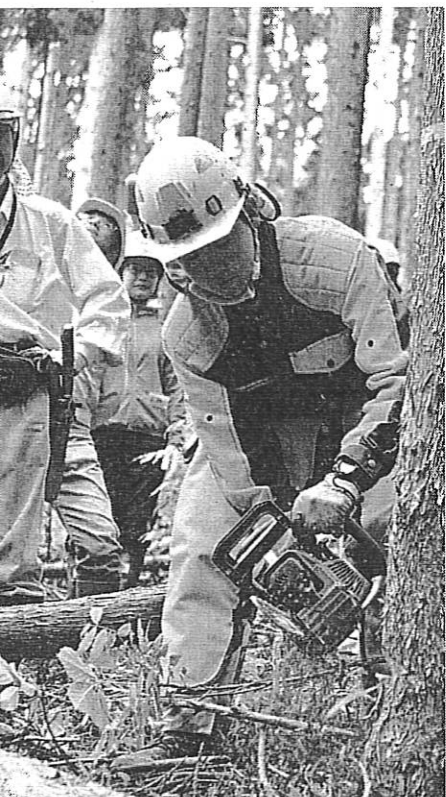
自伐林業家の育成に
取り組んでいる沼仙沼
市のNPO法人「リア
スの森応援隊」(高橋
正樹理事長)主催の人
材養成研修会が4、5
の両日、沼仙沼市本吉
町大谷地区で開かれ
た。市内外から参加し
た20人がチェーンソー
の使い方などを教わり
ながら、林業家になる
ためのノウハウを学ん
だ。

豊富な森林資源を生
かし、林業で収入を得
ようとする自伐林業家
を育成することで、林
業の活性化を図るのが
目的。

木質バイオマス発電
事業を行っている沼仙
沼地域エネルギー開発

を目標として24年から取
り組んでおり、今年4
月から同NPOが事業
を引き継いだ。
研修会には、林業従
事者、I、Uターンの
若者などが参加。5日
は、同町萱浦沢の佐藤
政重さん方の私有林で
実技講習が行われ、林
材業労災防止協会安全
指導員の阿部拓さん
を習得して、家具作り
に挑戦したい」と
話していた。
18、19日に伐採木の
運搬作業、7月2、3
日には作業道づくりの
講習がある。7、21
日には作業道づくりの
講習がある。7、21
日までの受講者を対象に
した「フォローアップ
研修」を予定してい
る。

同NPOの佐藤浩さ



スギの伐倒体験をする参加者

んは「自伐林業で収入
を得ながら、間伐で山
人に伐採技術を習得し
れば」
の手入れをしてもらい
てもらい、森林資源の
有効活用
れれば」
ていた。